

一輪車練習の心構え、伝授

北海道・ニセコ町立近藤小、愛知・岡崎市立下山小

北海道ニセコ町にある町立近藤小学校（古田統校長、児童47人）で10月7日、ベルマーク財団主催の一輪車講習会が開かれました。財団のへき地校支援事業です。

同小からは、「北海道の富士山」と呼ばれることで有名な羊蹄山が間近に見えます。羊蹄山は校章のモチーフにもなっています。今年、創立120周年を迎えたことから、講習会に先立って創立記念式典が開催され、参加した保護者は引き続き学校に残って講習会を参観しました。



講師は日本一輪車協会の公認インストラクターの佐藤彩香さんと、数々の大会で実績を残し、現在は子どもたちへの指導を中心に活動している鈴木奈菜さん。

講習会は全校児童を対象とし、インストラクター二人の自己紹介と模範演技からスタート。佐藤さんは音楽に合わせたソロ演技を、鈴木さんも「片足タイヤ乗り」「スピン」「アイドリング」などの難しい技を繰り返して練習しました。

実技指導では、講師の二人が熱心にアドバイスをしました。「バランスが大事。姿勢を良くして乗らないといつまでも上手く乗れません」と話したのは鈴木さん。佐藤さんは「運動神経の問題ではありません。毎日少しずつ、何回も繰り返して練習すると必ず上手くなります」と励ましました。

講習の最後、講師は「これからも、みんなで教えあい

ながら練習を続けてください」と激励しました。



愛知県の岡崎市立下山小学校（鈴木紀予子校長）では10月28日に講習会が開かれました。講師は、佐藤彩香さんと、全日本一輪車競技大会ソロ演技の部で総合優勝した経験のある小木真由子さんです。

毎年5月の大運動会では、「一輪車ドリル」を披露します。全員が音楽に合わせて演技をする自慢の伝統種目です。入学したばかりの1年生も参加しますが、短い練習時間で技を習得するには大変な努力が必要です。

子どもたちの習熟度によって2つのグループに分かれ、実技指導です。一輪車に力を入れている下山小では、1人1台の一輪車が備えられています。佐藤さんは「毎回の練習前には、タイヤに十分空気が入っているか確認することが大事」、小木さんは「毎日少しずつでも、練習を繰り返すことで上達します」と練習の心構えを伝



授しました。コツをつかんだ子どもたちは、次々と新しい技に挑戦していきます。「もう少しなのに」「惜しい」と悔しがる子がいれば、「出来た!」と一段と大きな声で喜んでいる子もいました。

「来年の運動会に向けて、もっと上手に乗れるように練習を続けていきます」という児童のお礼のあいさつからは、講習会を通してモチベーションが大きく高まったことが伝わってきました。



大分・国東市立国見小から感謝メッセージ

財団が寄贈した一輪車の練習用手すりを使っている写真が届きました。今年度支援したへき地学校、大分県国東市立国見小学校(丹田康彦校長、児童95人)からです。

国見小は今年4月、児童数減少のため、周辺の3校が統合して開校したばかりです。3校それぞれにあった一輪車を足すと、30台にもなりましたが、「練習環境がなく残念に思っていた」と話すのは荒木茂先生。設置すると、子どもたちは早速、体育の授業や休み時間に使い始めました。「特に低学年は習得が早く、みるみるうちに進める距離を伸ばしている」と話しました。



サイエンスショーで空気の力を実感

石川・白山市立白嶺小中で理科実験教室

「サイエンスショー、みんなで楽しんでください」

白衣を身にまとった先生の大きな声が体育館中に響き渡りました。ベルマーク財団のへき地校支援事業、理科実験教室の始まりです。

授業を受けたのは、石川県白山市にある市立白嶺小中学校（清水由美子校長）の全校児童・生徒28人。保護者26人も参観しました。



講師は富山大学教育学部の准教授、月僧秀弥先生です。福井県内の小中学校で理科教師をしたあと、福井県児童科学館でサイエンスショーの開催などにも携わってきました。2015年には教材開発のアイデアを教育振興に役立てる「教職員発明考案品懸賞募集」(主催・内田洋行)で奨励賞を、2012年の「第8回小柴昌俊科学教育賞」では優秀賞を受賞した実

績があります。

サイエンスショーのテーマは「空気」。月僧先生は大きな風船を膨らませました。軽く持ち上げられる風船ですが、先生が児童の背中に押し当てると「風船の重さをドンッと感じた」。空気に重さがあることが分かりました。

次は、重いボウリングボールを掃除機で吸い上げて、持ち上げる実験。円柱の入れ物の底にボールを置き、上部に差した掃除機のスイッチを入れると、ふわふわとボールが浮かび上がりました。水の入ったペットボトルを空気の力で持ち上げる実験や、空気の動きを考えながらプラスチックコップを使って輪ゴムを飛ばす遊びも披露すると、歓声が上がりました。



中でも、やかんを使ったパフォーマンスは圧巻でした。「『へそで茶を沸かす』

と言うよね。本当に出来るかやってみましょう」

先生はそう話すと、仰向けになった児童のおなかに水の入ったやかんを置きました。すると、本当にお湯が沸きだしたのです。驚いて目が点になっている子どもたちを前に、「君は良いおへそをしているね」とお茶目な月僧先生。



「科学の力でマジックもできます。実験は身の回りにある物で簡単にでき、夏休みの自由研究にも使えます」とサイエンスショーをまとめた先生が子どもたちから質問を募ると、「どうしてやかんの水が沸いたのか教えてください」と手が挙がりました。「それは秘密。答えを簡単に教えてもらうだけでなく、自分で考えることも大切」と答えました。ヒントは「近所のホームセンターでも買えるもの」だそうです。

大台達成校

11月		
オイスカ浜松国際高		
	浜松市西区	16,152,923
長浜小	滋賀県長浜市	9,016,404
市川小	千葉県市川市	6,007,116
三輪小	北海道北見市	5,030,971
川岡小	京都市西京区	5,010,461
塩焼小	千葉県市川市	4,037,760
洋光台第一小	横浜市磯子区	4,001,838
東部小	富山市	4,033,125
林小	高松市	4,043,220
道後小	松山市	4,016,251
朝陽第二小	山形県鶴岡市	3,010,199
長倉小	埼玉県幸手市	3,004,585
上丸子小	川崎市中原区	3,007,243
東戸塚小	横浜市戸塚区	3,092,655
大垣特別支援学校		
	岐阜県大垣市	3,000,454
片山小	大阪府吹田市	3,029,029
浜の宮小	兵庫県加古川市	3,009,067
就将小	鳥取県米子市	3,028,813
住吉小	宮崎市	3,027,768
堀金小	長野県安曇野市	2,107,704
神吉中	兵庫県加古川市	2,004,712
大松台小	東京都多摩市	1,041,934
長津田小	横浜市緑区	1,012,753
清流小	富山県魚津市	1,005,977
貴生川小	滋賀県甲賀市	1,033,881
箕谷小	神戸市北区	1,003,385

今月もたくさんのベルマークをありがとうございます

